

令和元年度 学校評価の結果報告

アンケート内容 (保護者向けの文章)	児童平均	保護者平均	教職員平均
1 学校は楽しいですか。(楽しく行っていますか。)	3.6	3.7	3.5
2 困ったことを先生や友達に相談していますか。	3.3	3.2	3.4
3 なかま活動は楽しいですか。(楽しんでいきますか。)	3.6	3.6	3.5
4 友達と仲良く生活していますか。(仲良くしていますか。)	3.7	3.6	3.3
5 友達にやさしくしていますか。(人にやさしいですか。)	3.5	3.5	3.5
6 勉強はよくわかりますか。(よくわかっていますか。)	3.3	3.0	2.8
7 自分の意見や考えを發表していますか。(お話できますか。)	2.8	3.0	2.7
8 あいさつをしていますか。	3.5	3.3	3.0
9 休み時間など、進んで運動していますか。	3.2	3.3	3.3

※表の数値は、「そう思う」4点、「すこしそう思う」3点、「あまりそう思わない」2点、「ほとんどそう思わない」1点として、その平均を算出しています。

児童による評価について

「3 なかま活動は楽しいですか。」の項目は3.6ポイントという高い評価となっており、今年度なかま活動の充実がなされたことが窺えます。また、「4 友達と仲良く生活していますか。」の項目も昨年度と同様、3.7ポイントという高い評価となっており、子どもたちの友達関係は概ね良好であることがわかります。一方、「7 自分の意見や考えを發表していますか。」の項目は2.8ポイントにとどまっています。今年度も重点をおいて取り組んできましたが、まだまだ苦手意識をもつ子どもたちが多いことがわかります。次年度に向けて、一層授業の中に対話的な学びを取り入れ、自分の考えをまとめて表現したり、相手の意見をよく聞き、それを踏まえて自分の意見を述べたりする力の育成を目指していきます。「8 あいさつをしていますか。」の項目は昨年度と比べると0.1ポイント下がっており(昨年度3.6ポイント)、セーフティウォッチャーの方々からも最近挨拶を返せない児童がいるとのご指摘をいただいているところでもあります。これについては、全教職員がきちんと挨拶のできる子どもたちの育成を意識するとともに、「あいさつ運動」等、子どもたちの活動を通して挨拶を奨励する場を増やしていきます。

保護者による評価について

「保護者による評価」については、昨年度と比べて0.1ポイント以上下回っている項目はありませんでした。「1 学校は楽しく行っていますか。」の項目は3.7ポイントであり、昨年度と同様(昨年度3.6ポイント)高評価となっています。「3 なかま活動は楽しんでいきますか。」の項目では、昨年度と比べて0.2ポイント上がっており(昨年度3.4ポイント)、これは昨年度の反省を受けてなかま活動の改善・充実に取り組んだことが反映されたと考えられます。「6 勉強はよくわかっていますか。」「7 自分の意見や考えをお話できますか。」の項目は、3.0ポイントにとどまっており、本校重要課題の一つが学習であることが浮き彫りとなっています。この手立てとして、教職員が一層研鑽し指導力の向上に努め、子どもたちに各教科の基礎基本を定着させられるよう今後さらに尽力していきます。また、対策の一つとして来年度の日課表について改善策を講じるとともに、家庭学習を一層推進していきます。

教職員による評価について

教職員による評価でも保護者・児童の評価と同様、学習理解と意見・考えを表現することに課題があるという結果が出ています。これに関しては、前述の手立てを講じつつ、教職員一人一人が意識して子どもたちの学力向上に努めていきます。なお、昨年度の課題として「児童による評価」・「保護者による評価」と「教職員による評価」に差異が認められるということがありました。これを踏まえ、今年度は教職員一同、学校からの情報発信や家庭との密な連絡を心がけてきました。その結果、家庭と学校の相互理解が進み、昨年度認められた差異は概ね解消されました。